

4月13日 新中学1年生に 反射タスキのプレゼント



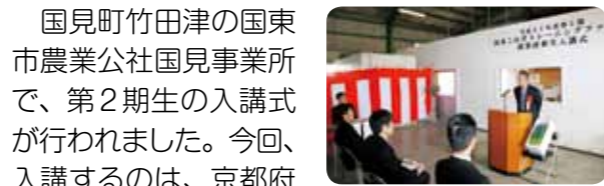
国東警察署と大分県交通安全協会国東支部は、市内4中学校の新1年生199人に反射タスキを贈呈しました。

安岐中学校で行われた贈呈式には、入学したばかりの1年生77人が参加。

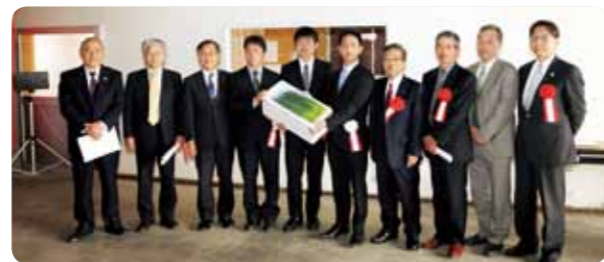
渡邊正典署長と馬場将郎支部長が林光輝君と田邊紗彩さんに反射タスキを手渡しました。

生徒を代表して上田まなみさんが「毎日必ず反射タスキを身につけ、交通安全に気を付けて登下校します。ありがとうございました」とお礼を述べ、全員でタスキをかけました。

4月8日 国東こねぎトレーニング ファーム入講式



国見町竹田津の国東市農業公社国見事業所で、第2期生の入講式が行われました。今回、入講するのは、京都府から1名、福岡県から2名の3名です。3人には、これからの研修を記録する研修記録簿が授与されました。味一ねぎ生産者を代表して、長廣正光さんが、「こねぎは簡単に栽培できるものではありません。こねぎを毎日観察して、こねぎの変化を知ってほしい」と激励しました。



4月2日 コミュニティスクール 指定式

学校と保護者や地域の皆さんが、協働して学校づくりを進めるコミュニティスクールに、安岐町にある安岐中学校、安岐小学校と安岐中央小学校の3校が市内で初めて指定されました。学校側と保護者や地域の方が協議をする「学校運営協議会」の委員も任命されました。安岐中学校の学校運営協議会の中野昭純委員が「より多くの保護者や地域の声をいただいて学校運営に生かし、児童生徒の健全な成長に寄与していきたい」と決意表明をしました。



3月29日 道の駅くみにみ まぐろ解体ショーでにぎわう

道の駅くみにみ感謝イベント「まぐろ解体ショー&即売会」が行われました。市内外から訪れたみなさんは、形のいいメバチマグロが手際よく解体される様子を間近で見学しました。切り分けられたまぐろはパックに入れられて即売され、新鮮な切り身を買求める人たちで長蛇の列ができました。



なお、会場には軽トラ市やT-1グランプリに出場した4店舗の出店もあり、会場は約600人の人でにぎわいました。



4月14日 ソラシドエアと 包括的連携協定を締結!

国東市は、ソラシドエア（スカイネットアジア航空株式会社 代表取締役社長：高橋洋氏）と、地域社会発展に寄与することを目的とした包括的連携協定を締結しました。



この協定により、「世界農業遺産の里国東号」によって培ってきた関係は継続し、今後より一層連携しながら、観光や地域産業、地域文化振興等を図っていきます。

▲高橋社長(右)と三河市長

4月12日 岐部子供獅子舞



国見町岐部の岐部神社で、約650年続く岐部子供獅子舞が行われました。神事のあと、浜殿で岐部地区の女子小学生による巫女が鈴を鳴らして舞を披露し、男子小学生による子供獅子舞は、鬼役に2人、獅子役に4人の計6人で、左右に動き回りながら格闘の様子を勇ましく演じていました。今年、初めて鬼役に参加した田中滉人君（小学2年生）は、「練習は難しかったが、本番は楽しくできた」と話していました。子どもたちの舞を見つめていた宮総代の山際義和さんは、「心配された天気もち、盛大に浜風の中で、子どもたちが練習の成果を十分に出した素晴らしい舞を披露できたのではないかと話していました。」と話していました。

4月5日 割石地藏尊桜まつり



国東町寺山にある割石地藏尊。平成6年にお堂が建立されてから桜まつりを始め、今年で21年目を迎えます。雨が降る中での開催でしたが、約200人の方がお参りに来ていました。地元の女性たちが作ったぜんざいと地元でとれた野菜、手づくりのおまんじゅうなどで、訪れた人たちをおもてなししていました。



3月29日 国東にっぽん酒をつくる会

米づくりをはじめ、自分たちができる作業に積極的に取り組んできた「国東にっぽん酒をつくる会」。

3月29日(日)には、国東町綱井の菅島酒造にたくさんの会員が集まりました。できあがったオリジナルの日本酒を瓶に注ぎ、自然と笑顔がこぼれていました。

